

科目名	心理学 I A						学期	前	期
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	心理学における自己分析・改善のきっかけを作り人間関係に関わる分野の研究と理論について学習する								
授業内容	自己分析をおこないレポート記入しグループ発表形式をとる								
学習目標	心理学を通して、友人・家族・クラスメートなど身近な人間関係をより深め、社会につなげていく								
使用テキスト	歯科衛生士心理学 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	講師自己紹介・教科の説明・学生自己紹介	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
2	グループワークで自己紹介	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
3	コミュニケーションの取り方・自己モニタリング・自己分析	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
4	アンガーマネジメント・ストレスマネジメント	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
5	アンガーマネジメント・ストレスマネジメント	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
6	目標・目的	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
7	ライフプラン・マンダラチャート作成	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
8	質問の仕方・傾聴・効果的な話し方	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
9	グループワーク・前半のまとめ	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
10	サービスとホスピタリティ	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
11	コミュニケーションの取り方	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
12	患者心理	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
13	患者心理	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
14	非言語的コミュニケーション	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
15	医療面接	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題	20 %	①提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	心理学 I B						学期	後 期	
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	心理学における自己分析・改善のきっかけを作り人間関係に関わる分野の研究と理論について学習する								
授業内容	自己分析をおこないレポート記入しグループ発表形式をとる								
学習目標	心理学を通して、友人・家族・クラスメートなど身近な人間関係をより深め、社会につなげていく								
使用テキスト	歯科衛生士心理学 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	前期の復習・好感持たれる医院の受付	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
2	医療面接	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
3	集団心理	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
4	説明と説得コミュニケーション技法	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
5	目標設定・マンダラチャート確認	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
6	コミュニケーション技法	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
7	行動心理	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
8	世代別コミュニケーション技法 幼児・学童	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
9	世代別コミュニケーション・学生・成人男性・女性	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
10	世代別コミュニケーション高齢者	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
11	発達障害 コミュニケーション技法	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
12	発達障害コミュニケーション技法	【事前】	テキスト予習						
		【事後】	確認ワーク						
13	グループワークで一年を振り返って、イベント参加後の自分の行動変化発表	【事前】	事前学習						
		【事後】	レポート課題						
14	グループワークで一年を振り返って、イベント参加後の自分の行動変化発表	【事前】	事前学習						
		【事後】	レポート課題						
15	グループワークで一年を振り返って、イベント参加後の自分の行動変化発表	【事前】	事前学習						
		【事後】	レポート課題						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	ビジネスIT技術1A						学期	前期	
担当教員	高林 健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ワープロソフトを用いた文書作成技術を学習する								
授業内容	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
学習目標	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
使用テキスト	Word文章処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	ワープロの基礎								
2	文書作成の基本								
3	フォーマットの設定								
4	表の作成								
5	画像挿入								
6	文書の整理								
7	見栄えの向上								
8	実践演習								
9	応用技術								
10	共同作								
11	校正技術								
12	文書の管理								
13	仕上げの技術								
14	ケーススタディ								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	30 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	ビジネスIT技術 I B						学期	前期	
担当教員	高林 健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ワープロソフトを用いた文書作成技術を学習する。								
授業内容	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
学習目標	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
使用テキスト	Word文章処理技能認定試験テキスト								
週数	授業計画								
1	1. ワープロの基礎								
2	2. 文書作成の基本□ □								
3	3. フォーマットの設定								
4	4. 表の作成□ □								
5	5. 画像挿入□ □								
6	6. 文書の整理								
7	7. 見ばえの向上□ □								
8	8. 実践演習								
9	9. 応用技術								
10	10. 共同作業								
11	11. 校正技術								
12	12. 文書の管理								
13	13. 仕上げの技術								
14	14. ケーススタディ								
15	15. まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	ICT演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	高林 健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	エクセルを活用したデータ処理技術を学習する。								
授業内容	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。								
学習目標	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。								
使用テキスト	Excel 表計算処理技能認定試験テキスト								
週数	授業計画								
1	1. エクセルの基礎								
2	2. 表作成								
3	3. 計算式の活用								
4	4. 関数の基礎								
5	5. データの可視化								
6	6. グラフ作成								
7	7. データ分析								
8	8. ピボットテーブル								
9	9. マクロの基本								
10	10. 応用技術								
11	11. 業務活用例								
12	12. 共同作業								
13	13. 効率化の技術								
14	14. ケーススタディ								
15	15. まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	ICT演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高林 健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	エクセルを活用したデータ処理技術を学習する。								
授業内容	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。								
学習目標	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。								
使用テキスト	Excel 表計算処理技能認定試験テキスト								
週数	授業計画								
1	1. エクセルの基礎								
2	2. 表作成								
3	3. 計算式の活用								
4	4. 関数の基礎								
5	5. データの可視化								
6	6. グラフ作成								
7	7. データ分析								
8	8. ピボットテーブル								
9	9. マクロの基本								
10	10. 応用技術								
11	11. 業務活用例								
12	12. 共同作業								
13	13. 効率化の技術								
14	14. ケーススタディ								
15	15. まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	ICT活用ⅡA						学期	前期	
担当教員	高林 健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	プレゼンテーション技術とVR活用方法を学習する。								
授業内容	プレゼンテーション技術とVR活用方法を理解する。								
学習目標	プレゼンテーション技術とVR活用方法を理解する。								
使用テキスト	PowerPoint2024								
週数	授業計画								
1	1. プレゼンの基礎								
2	2. スライド作成								
3	3. レイアウトの工夫								
4	4. 文章構成								
5	5. 画像と動画活用								
6	6. スライドアニメーション								
7	7. VR技術の基礎								
8	8. VRプレゼン実習								
9	9. 説得力のある話し方								
10	10. プレゼン演習								
11	11. 参加型プレゼン								
12	12. 質疑応答技術								
13	13. 実践的事例								
14	14. ケーススタディ								
15	15. まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	-								

科目名	ビジネスマナー I A						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	社会人としての基本的なビジネスマナーや礼儀を学習する。								
授業内容	社会人に求められる言葉遣い、身だしなみ、基本的な敬語表現、電話応対、メール作成などのビジネスマナーの基礎を理解する。								
学習目標	日常業務に必要な基本的なビジネスマナーとコミュニケーションの基礎を理解する。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	1. ビジネスマナーの基礎								
2	2. 挨拶と礼儀								
3	3. 言葉遣い								
4	4. 電話応対								
5	5. メール作成								
6	6. 名刺交換								
7	7. 敬語の使い方								
8	8. 交渉技術								
9	9. ビジネスマナー実践								
10	10. 上司との関係								
11	11. 社内コミュニケーション								
12	12. 社外対応								
13	13. ケーススタディ								
14	14. 応用技術								
15	15. まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	ビジネスマナー I B						学期	後	期
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	より高度なビジネスマナーを身につけ、実践的な対応力を学習する。								
授業内容	交渉・プレゼン・上司や取引先との関係構築、ビジネスシーンに応じた臨機応変な対応、トラブル対応など、ビジネスマナーの応用を理解する。								
学習目標	ビジネスシーンに必要な応用的なマナーや交渉術を理解する。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数									
1	1. 応用マナーの重要性(マナーの基本を活かす)								
2	2. ビジネスマナーの地域・国際的な違い(海外対応のポイント)								
3	3. ハイレベルな敬語と話し方(役職者・取引先への対応)								
4	4. 交渉のマナーと話し方(説得力のある言葉遣い)								
5	5. 来客・訪問時のマナー応用(上級者向け対応)								
6	6. クレーム対応の実践(クレームの受け方・対処法)								
7	7. 異文化コミュニケーション(文化の違いを考慮した対応)								
8	8. ビジネスメール・文書の応用(フォーマルな文書作成)								
9	9. プレゼンテーション時のマナー(話し方・姿勢・表現)								
10	10. エレベーターマナー・接待マナー(フォーマルな場での立ち振る舞い)								
11	11. 電話対応の応用(トラブル時の電話対応)								
12	12. ロールプレイング演習①(実際のビジネスシーンを想定)								
13	13. ロールプレイング演習②(難易度の高いシチュエーション対応)								
14	14. 自己ブランディングとマナー(印象管理の技術)								
15	15. 総復習とビジネスマナーテスト(実践評価)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	人体解剖・組織・発生 I A						学期	前 期		
担当教員	寺島 龍一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4	
学習目的	人体の構造および組織・発生の基礎を理解し、全身の正常な形態と機能を捉えるための基礎的知識を身につける。									
授業内容	人体の基本構造、主要な組織の特徴および発生の基礎について、全身との関連を踏まえて学ぶ。									
学習目標	人体の構造、組織および発生の基本を理解し、後続科目や歯科臨床に必要な基礎的知識を身につける。									
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ解剖学・組織発生学・生理学									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	総論						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
2	細胞の基本構造						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
3	組織の分類						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
4	個体発生						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
5	骨格系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
6	筋系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
7	脈管系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
8	復習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
9	消化器系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
10	呼吸器系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
11	泌尿生殖器系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
12	内分泌器系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
13	中枢神経系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
14	末梢神経系/感覚器系						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
15	まとめ						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	復習プリント		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %			①提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。					
	2. 授業姿勢	30 %			①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。					
	3. テストその他	50 %			理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	口腔構造・機能論 I A					学期	後 期
担当教員	寺島 龍一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
						単位数	2
学習目的	人体の構造および組織・発生の基礎を理解し、全身の正常な形態と機能を捉えるための基礎的知識を身につける。						
授業内容	解剖学的構造、組織・発生の特徴および生理機能について、歯科臨床との関連を踏まえて学ぶ。						
学習目標	構造と機能を理解し、歯科臨床や後続科目に必要な基礎的知識を身につける。						
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ解剖学・組織発生学・生理学						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	前期の復習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
2	細胞機能と体液	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
3	神経	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
4	感覚	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
5	運動	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
6	循環①	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
7	循環②	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
8	循環③	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
9	復習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
10	内分泌	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
11	消化・吸収	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
12	排泄	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
13	生殖	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
14	体温	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
15	まとめ	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	復習プリント				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 20 %	①提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。②配布プリントや資料の整理整頓状況をに基づき評価する。					
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。					
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他							

科目名	口腔解剖・組織・発生						学期	前	期
担当教員	朽名 智彦	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	口腔およびその周囲組織の構造、組織学的特徴および発生過程を理解し、歯科医療を学ぶための基礎的知識を身につける。								
授業内容	歯、歯周組織、口腔粘膜および顎顔面領域について、解剖学的構造、組織学的特徴および発生の基礎を学ぶ。								
学習目標	口腔および顎顔面領域の構造と組織・発生の基礎を理解し、歯科臨床や後続科目に必要な基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ口腔解剖・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	口腔とその周囲の解剖学 ①口腔とは・口腔とその周囲の表面・口腔前庭・固有口腔 ②口腔を構成する骨・頭蓋をこうせいする骨・口腔を構成する骨					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
2	口腔とその周囲の解剖学 ③頭頸部の筋と作用・顔面筋・咀嚼筋・舌筋・頸部筋・顎下三角とオトガイ三角・翼突科学隙 ④顎関節・骨・軟組織					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
3	口腔とその周囲の解剖学 ⑤口腔周囲の脈管・動脈系・静脈系・リンパ系 ⑥神経・三叉神経・顔面神経・舌咽神経・迷走神経・舌下神経・脊髄神経・自律神経					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
4	口腔とその周囲の解剖学 ⑦唾液腺・唾腺・大唾液腺・小唾液腺 ⑧咽頭と喉頭の構造・咽頭・喉頭・食道・嚥下に関する筋群・口腔周囲の主な筋					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
5	第1章 まとめ・確認プリント					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
6	歯の形態 ①歯の解剖学総論 ②永久歯					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
7	第2章まとめ・確認プリント					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
8	歯および歯周組織の構造と機能 ①エナメル質 ②象牙質					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
9	歯および歯周組織の構造と機能 ③セメント質 ④歯根膜 ⑤歯槽骨 ⑥歯肉					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
10	歯および歯周組織の発生 ①顔面と口腔の発生・鰓弓の形成・突起の形成と癒合・口蓋の形成・舌の形成・腺の形成					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
11	歯および歯周組織の発生 ②歯と歯周組織の発生・先行歯の発生・代生歯および加生歯の発生・歯の萌出・歯の脱落と交換・歯の萌出の臨床的考察					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
12	歯の組織と発生のまとめ・プリントと解説					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
13	歯の解剖まとめ・プリントと解説					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
14	口腔解剖まとめ・プリントと解説					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
15	口腔解剖学・口腔組織発生学まとめ・確認プリント					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	確認プリント 書き込みノート		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	20 %	①提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	口腔生理学・臨床検査 I A					学期	前	期	期	
担当教員	立浪 康晴	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	口腔およびその周囲組織の生理機能について理解し、正常な機能と異常との違いを把握する。 歯科臨床における各種検査の目的と意義を理解し、検査結果から患者の口腔状態を客観的に把握するための基礎的能力を養う。									
授業内容	口腔の構造と機能、咬合力、咀嚼、嚥下、唾液、口腔感染、全身との関連および加齢や生活習慣による口腔機能の変化について学ぶ。 歯科臨床における検査の基本的概念を理解し、各種検査の特徴、評価因子、結果の読み取りおよび患者説明への活用について学ぶ。									
学習目標	口腔の生理機能とその役割を理解し、正常と異常の違いを踏まえて活用できる基礎的知識を身につける。 歯科臨床における各種検査の目的と評価因子を理解し、検査結果から患者の口腔状態を考察して予防や支援に活用できる基礎的能力を身につける。									
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ口腔解剖学・口腔組織学・口腔生理学 歯科衛生学シリーズ臨床検査									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	[口腔生理学] 歯牙形態(1)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
2	[口腔生理学] 歯牙形態(2)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
3	[口腔生理学] 歯牙形態(3)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
4	[口腔生理学]歯と口腔の機能 1章・2章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
5	[口腔生理学] 3章・4章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
6	[口腔生理学] 5章・6章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
7	まとめ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
8	[臨床検査] 1章・2章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
9	[臨床検査] 3章・4章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
10	[臨床検査] 5章・6章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
11	復習	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
12	[臨床検査] 7章・8章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
13	[臨床検査] 9章・10章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
14	[臨床検査] 11章・12章	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
15	まとめ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	病理学・口腔病理学						学期	前	期
担当教員	野口 映	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	疾病の成り立ちや組織・細胞の変化を理解し、正常構造との違いを把握することで、口腔疾患理解の基礎となる病理学的思考を身につける。								
授業内容	炎症、循環障害、腫瘍などの基本的な病変の成り立ちと、組織・細胞レベルでの変化について学ぶ。								
学習目標	病変の基本的な成り立ちと特徴を理解し、正常組織との違いを踏まえて疾患を捉える基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ病理学・口腔病理学 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	病理学序論・病因論・細胞障害	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
2	先天異常・遺伝性疾患と奇形・口腔領域の奇形	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
3	循環障害	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
4	代謝障害・退行性病変・増殖と修復	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
5	炎症	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
6	免疫	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
7	腫瘍・口腔領域の腫瘍・口腔がん	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
8	まとめのワーク・解説	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
9	う蝕の細菌学	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
10	歯周病の細菌学	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
11	病理学的う蝕と歯周病	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
12	口腔炎症・粘膜疾患	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
13	口腔額・顔面腫瘍・唾液腺腫瘍	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
14	口腔先天異常・病理検査	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
15	口腔微生物学・免疫学まとめ小冊子	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	薬理学 I A						学期	後 期	
担当教員	立浪 康晴	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	薬物の作用機序や効果、副作用を理解し、安全で適切な歯科医療を支えるための基礎的知識を身につける。								
授業内容	薬物について、作用機序、適応、副作用および注意点を中心に学ぶ。								
学習目標	薬物の基本的な作用と安全管理を理解し、歯科診療補助や患者対応に活用できる基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ薬理学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	序章 薬理学と歯科衛生士 1章 薬物の作用	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
2	2章 薬物動態	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
3	3章 薬物の適用方法の種類と特徴	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
4	4章 薬物の作用に影響を与える要因	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
5	5章 薬物の副作用・有害作用	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
6	6章 医薬品をてきようするさいの注意 7章 薬物の取り扱い 8章 薬物と法律・薬物と医薬品	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
7	II編 I章 ビタミンとホルモン 21章 和漢薬	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
8	2章 末梢神経に作用する薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
9	3章 中枢神経系にさようする薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
10	4章 循環器系にさようする薬物 5章 腎臓に作用する薬物 6章 呼吸器系に作用する薬物 7章 消化器系に作用する薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
11	8章 血液に作用する薬物 9章 免疫と薬物 10章 悪性腫瘍と薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
12	11章 代謝性疾患治療薬 16章 消毒に使用する薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
13	12章 炎症と薬物 13章 痛みと薬物 14章局所麻酔薬 15章 抗感染症薬	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
14	17章 う蝕予防薬 18章 歯内療法薬 19章 歯周疾患治療薬 20章 顎口腔粘膜疾患と薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
15	総括 覚えたい80の薬物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50%	確認プリント平均と理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	微生物学						学期	前	期
担当教員	野口 映	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	微生物の性質と感染の仕組みを理解し、口腔内環境の管理や感染予防に必要な基礎的知識を身につける。								
授業内容	微生物の特徴、感染の成立過程および感染予防と衛生管理の基本について学ぶ。								
学習目標	微生物の基本的性質と感染の仕組みを理解し、歯科医療における感染予防や口腔衛生管理に活用できる基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ微生物学 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	微生物学概要・感染	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
2	微生物学培養・観察と検査	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
3	微生物学化学療法	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
4	微生物学消毒と滅菌	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
5	病原微生物学Ⅰ 主な病原性細菌について	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
6	病原微生物学Ⅱ マイコプラズマ・スピロヘータ・リケッチア・クラミジア	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
7	病原微生物学Ⅲ ウイルス・真菌・原虫	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
8	免疫学Ⅰ 宿主防御機能・めつめき機能	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
9	免疫学Ⅱ 液性免疫	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
10	免疫学Ⅲ 細胞性免疫・アレルギー・過敏症	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
11	口腔微生物学Ⅰ 口腔環境と常在微生物	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
12	口腔微生物学Ⅱ バイオフィルムとしてのプラーク	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
13	口腔微生物学Ⅲ う蝕の細菌学	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
14	口腔微生物学Ⅳ 歯周病の細菌学・その他の感染症	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント・書き込みノート						
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	生化学 I A						学期	前 期	
担当教員	立浪 康晴	科目区分	一般	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	生命現象を支える物質とその代謝の基礎を理解し、口腔および全身の健康と疾患を科学的に捉えるための基礎的知識を身につける。								
授業内容	糖質・脂質・タンパク質などの生体成分と代謝の基礎について、口腔および全身との関わりを踏まえて学ぶ。								
学習目標	生体成分と代謝の基本的な仕組みを理解し、口腔の健康管理や疾患理解に活用できる基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ生化学・口腔生化学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	序章生化学・口腔生化学と歯科衛生士 I 編 人体の代謝と機能 1章人体の構成要素					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
2	1章 人体の構成要素					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
3	2章 人体における化学反応 3章 糖質・歯質・タンパク質代謝					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
4	3章 糖質・歯質・タンパク質代謝					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
5	3章 糖質・歯質・タンパク質代謝 4章 糖質・歯質・タンパク質代謝の相互関連					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
6	5章 遺伝子とタンパク質合成					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
7	6章 人体における恒常性の維持					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
8	人体の生化学まとめ					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
9	II 編口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
10	II 編口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
11	2章 硬組織の生化学					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
12	3章 唾液の生化学					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
13	3章 唾液の生化学・免疫					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
14	4章 プラークの生化学					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
15	口腔の生化学まとめ					【事前】	テキスト・穴埋めプリントの予習		
						【事後】	確認ワーク・穴埋めプリントの復習		
	評価項目/割合				評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	栄養学						学期	後 期	
担当教員	立浪 苑子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	栄養素の働きと食事の役割を理解し、口腔および全身の健康維持・増進に必要な栄養の基礎的知識を身につける。								
授業内容	主要な栄養素の働きと代謝、食生活と健康との関係について、口腔の健康との関連を踏まえて学ぶ。								
学習目標	栄養素の基本的な働きを理解し、口腔の健康管理や食生活支援に活用できる基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ栄養学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1章 栄養学と歯科衛生士	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	2章 栄養素の種類とはたらき	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	3章 栄養素の消化・吸収	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	4章 健康と栄養	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	5章 食事と食品	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	6章 ライフステージと栄養	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	7章 栄養ケア・マネジメント/ワークの説明	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	妊婦期・授乳期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	乳児期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	幼児期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	学童期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	思春期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	成人期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	高齢期における栄養指導(ワーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況をに基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	口腔衛生学 I A						学期	前 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	口腔疾患の成因と予防法の基礎知識を理解し、歯科衛生士として必要な口腔保健の基本的理論を修得する。□								
授業内容	プラークと口腔疾患の関係、う蝕・歯周疾患の成因、口腔清掃法、フッ化物応用など予防歯科の基礎事項を体系的に学ぶ。□								
学習目標	主要な口腔疾患の原因と予防法を説明でき、科学的根拠に基づいた口腔衛生管理の基本知識を身につける。□								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保健生態学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	口腔衛生学の目的・役割	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	健康と予防の概念	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	歯科疾患の疫学・指数	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	歯の付着物(プラーク)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	歯石・バイオフィルム	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	口腔清掃法(セルフケア)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	専門的口腔清掃(PMTC)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	う蝕の病因	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	う蝕予防法	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	フッ化物応用	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	歯周疾患の病因	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	歯周疾患の予防	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	その他の口腔疾患	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	総復習・問題演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	口腔衛生学ⅡA						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	口腔保健を集団および地域の視点から理解し、歯科衛生士に必要な公衆衛生的知識と制度の基礎を修得する。								
授業内容	予防戦略、疫学的思考、学校・母子・成人・高齢者歯科保健、地域保健活動や健康政策など口腔保健の社会的仕組みを学ぶ。								
学習目標	口腔保健活動の制度と仕組みを説明でき、対象集団に応じた予防活動の考え方と歯科衛生士の役割を理解できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保健生態学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1年次の内容の総復習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	口腔衛生学の役割再確認	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	疾患の自然史と予防	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	ハイリスクアプローチ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	ポピュレーションアプローチ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	疫学データの見方	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	母子歯科保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	学校歯科保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	成人歯科保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	高齢者歯科保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	地域歯科保健活動	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	健康づくり施策(健康政策)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	地域活動事例の理解	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	総復習・問題演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	公衆衛生学 I A						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	集団の健康維持・増進を目的とした公衆衛生の概念や制度を学ぶ。環境、疫学、各種保健活動の基礎知識を習得し、歯科衛生士として社会保健に貢献できる視点を養う。								
授業内容	健康の定義や疫学、人口統計の基礎を学び、環境衛生や感染症対策、食品安全の重要性を理解する。後半は母子・学校・産業・高齢者など各ライフステージの保健活動や、災害・国際保健の現状を習得する。								
学習目標	公衆衛生の基本理念と各保健分野の法的根拠・制度を説明できる。地域の健康課題に対し、歯科衛生士が他職種と連携して果たすべき役割をライフステージや環境特性に合わせて提示できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保健生態学、保健・医療・福祉の制度								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	健康と予防の概念	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	疫学	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	人口	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	健康と環境1	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	健康と環境2	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	感染症	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	食品と健康	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	地域保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	母子保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	学校保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	成人・産業保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	高齢者保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	精神・国際保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	災害時の保健	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	衛生統計学・地域保健統計学					学期	後	期	2
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科保健活動に必要な情報の収集・分析手法と疫学の基礎を習得する。統計データを客観的に読み解き、地域の健康課題の把握や解決策を立案できる実践的な能力を養う。								
授業内容	統計の基礎と疫学、歯科疾患の指標を学び、データの集計・分析演習を行う。後半は「健康日本21」をテーマに、地域の現状把握から課題解決案の策定までをグループワーク形式で実践する。								
学習目標	疫学概念や歯科疾患の各指数を理解し、正しく算出・解釈できる。また、保健統計資料を用いて地域の課題を分析し、歯科衛生士としての具体的な支援策を立案・発表できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保健情報統計学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	保健情報と統計	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	疫学	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	歯科疾患の指数①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	歯科疾患の指数②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	保健情報の分析手順①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	保健情報の分析手順②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	保健情報の方法①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	保健情報の方法②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	保健情報の分析演習①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	保健情報の分析演習②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	【地域課題研究】健康日本21①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	【地域課題研究】健康日本21②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	【地域課題研究】健康日本21③	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	【地域課題研究】成果発表	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	衛生行政・社会福祉 I A						学期	前	期	期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	歯科衛生士法を軸とした関係法規と衛生行政の仕組みを正しく理解し、保健・医療・福祉の基礎知識を習得する。多様化する社会情勢や制度を背景に、地域社会で多職種と連携し貢献できる歯科衛生士としての資質を養う。										
授業内容	歯科衛生士法等の関係法規と衛生行政の仕組みを理解し、健康統計に基づいた公衆衛生の現状を把握する。さらに社会保障や各福祉制度を学び、地域包括ケアにおける多職種連携と歯科衛生士の役割を習得する。										
学習目標	関係法規や社会保障制度の仕組みを理解し、対象者の状況に応じた適切な保健・福祉サービスを説明できる。また、地域包括ケアにおける歯科衛生士の役割を自覚し、多職種と連携する基礎能力を身につける。										
使用テキスト	歯科衛生士シリーズ保健・医療・福祉の制度										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	オリエンテーション・歯科衛生士法					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
2	医療関係法規と提供体制					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
3	衛生行政の組織と活動					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
4	人口動態と健康統計					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
5	健康づくりと生活習慣病					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
6	疫学と感染症対策					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
7	母子保健・学校保健					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
8	社会保障制度の概要					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
9	医療保険・介護保険制度					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
10	社会福祉の理念と児童福祉					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
11	高齢者福祉と障害者福祉					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
12	地域包括ケアシステム					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
13	産業保健と精神保健					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
14	総括と復習					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
15	まとめ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。					
	2. 授業姿勢	30 %				①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。					
	3. テストその他	50 %				理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科目名	歯科衛生士概論 I A					学期	前	期
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数
								2
学習目的	歯科衛生士業務を理解し、人々の健康づくりを支援するために、医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度及び倫理的思考の基礎を習得する。							
授業内容	教科書使用講義・地域包括での活動や現場でのコミュニケーションの取り方についてはグループワーク・ディスカッションを行う。							
学習目標	歯科衛生士法・業務の説明・チーム医療の理解と役割・歯科衛生士過程を説明・立案できる。							
使用テキスト	歯科衛生士概論 医歯薬出版株式会社							
週数	授業計画					事前・事後の学習		
1	歯科医療に必要な基礎知識	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
2	歯科衛生士になるために必要な基礎知識	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
3	歯科衛生士と医療倫理	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
4	医療現場におけるコミュニケーション技法	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
5	多職種連携・キャリアマネジメント	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
6	歯科衛生士と多職種連携	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
7	地域包括と多職種連携	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
8	歯科衛生士過程を論理的に思考し問題発見及び解決するための過程を理解する	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
9	予防歯科における歯科衛生士のEBM・国際社会における歯科衛生士の役割	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
10	現場で活躍する歯科衛生士・診療所・病院・訪問・企業・行政	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
11	衛生行政・衛生関係法規・社会保障の概念と社会福祉制度を理解する	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
12	社会保険・医療保険・年金制度を理解する	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
13	臨床実習前の歯科衛生士の役割・コミュニケーション・社会人マナー・患者とのコミュニケーションの取り方・医療面接	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
14	臨床実習前の歯科衛生士の役割・コミュニケーション・社会人マナー・患者とのコミュニケーションの取り方・医療面接	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
15	臨床実習前の計画書・課題発表	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	確認プリント					
	評価項目/割合			評価内容				
評価基準	1. 課題	30%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。					
	2. 授業姿勢	30%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。					
	3. テストその他	40%	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他								

科目名	歯科医療倫理学 I A						学期	後 期	
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科衛生士養成期にあたり、医療従事者に共通して必要とする。医療に対する考え方・規範・患者の権利及び研究に必要な事項について理解する。								
授業内容	前半は医療人としての倫理について学び理解する。後半は実際のケースを参考に意見交換、また歯科衛生士としての多職種・地域・組織のありかたの重要性を理解する。								
学習目標	医療倫理の理論と実践について説明できる・医療倫理における規範や法律・診査など説明できる・研究活動といりょうりんの関連性を理解できる。								
使用テキスト	医歯薬出版株式会社 歯科医療倫理学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	なぜ、医療倫理を学ぶのか 医療従事者の基本的義務・歯科衛生士の社会的使命	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
2	医療倫理に関する規範・医療従事者の職業倫理・生命の始まり、終わりに関する問題	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
3	インフォームドコンセント	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
4	人を対象とした研究に関わる倫理指針	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
5	ケースプレゼンテーションを参考にしている意見交換・ディスカッション	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
6	医療現場における医療者と患者の行動・QPL/ADLについて・コンプライアンス	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
7	医療従事者と患者の行動・保健指導・病状と心理的要因について・患者への説明方法	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
8	医療従事者に必要なこと・多様性・守秘義務・身だしなみ・コミュニケーション ケーススタディで意見交換	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
9	医療倫理に関する規範と法令・ヒポクラテスの誓い・ジュネーブ宣言・医の倫理の国際綱領・リスボン宣言	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
10	医療倫理のまとめ・歯科衛生士養成課程で必要な倫理的行動	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
11	教科書のケースプレゼンテーションでのディスカッション	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
12	地域・医療の現場で活躍する歯科衛生士・日本歯科衛生士会・富山県歯科衛生士会の活動	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
13	災害時における歯科衛生士の役割・地域との関連	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
14	医療倫理のまとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
15	見学実習事前授業	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認プリント						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)							
	3. テストその他 40 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	保存修復学ⅡA					学期	前期
担当教員	姜 東勲	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
学習目的	う蝕に対する保存修復治療の考え方と方法を理解し、う蝕の進行段階や歯質の性状に応じた対応を踏まえて、歯質の保存を重視した歯科医療を支えるための基礎的知識を身につける。						
授業内容	う蝕の診断と進行段階に応じた保存修復治療について、修復材料の特性や処置の流れを中心に学ぶ。						
学習目標	保存修復治療の基本的な考え方と修復材料の特徴を理解し、歯科診療補助に基礎的知識を身につける。						
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保存修復学・歯内療法学						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	歯の保存修復とは、保存修復の概要	【事前】	保存療法の意義・歯科衛生士の役割				
		【事後】	確認プリント				
2	診査・診断の科学	【事前】	視診・触診・温度診・レントゲン診査				
		【事後】	確認プリント				
3	う蝕の病態と治療準備	【事前】	う蝕の進行・窩洞の形態(black分類)・防湿法				
		【事後】	確認プリント				
4	直接修復(OR)	【事前】	接着の理論・エッチング・ボンディング・光重合				
		【事後】	確認プリント				
5	間接修復と審美	【事前】	インレー修復・印象採得・ホワイトニング				
		【事後】	確認プリント				
6	補修修復・歯科用セメント	【事前】	グラスアイオノマーセメントおよび他のセメント				
		【事後】	確認プリント				
7	保存修復における歯科衛生士の役割	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	確認プリント				
8	まとめ・確認プリント	【事前】	プリント学習				
		【事後】	確認プリント				
9	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
10	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
11	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
12	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
13	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
14	実習	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
15	まとめ	【事前】	テキストの予習				
		【事後】	該当範囲の復習				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 20%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。					
	2. 授業姿勢 30%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。					
	3. テストその他 50%	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	-						

科目名	歯内療法学ⅡA						学期	前 期		
担当教員	姜 東勲	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	歯内療法の考え方と処置の流れを理解し、歯髄および根尖周囲組織の状態に応じた歯科医療を支えるための基礎的知識を身につける。									
授業内容	歯髄疾患および根尖性病変に対する歯内療法について、診断の考え方、処置の流れおよび使用器材の基礎を学ぶ。									
学習目標	歯内療法の概念と処置の流れを理解し、歯科診療補助に基礎的知識を身につける。									
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ保存修復学・歯内療法学									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	歯内療法の概要・疾患						【事前】	歯髄・根尖周囲組織の解剖と疾患分類		
							【事後】	確認プリント		
2	治療の基本と器具管理						【事前】	ファイル・リーマーのISO規格・滅菌管理		
							【事後】	確認プリント		
3	抜髄と感染根幹治療						【事前】	髄腔開拓・作業長測定・機械的拡大		
							【事後】	確認プリント		
4	根管洗浄と貼薬						【事前】	根管洗浄薬・根管貼薬の薬剤		
							【事後】	確認プリント		
5	根管充填						【事前】	ガッターパーチャ・側方・垂直加圧重点		
							【事後】	該当範囲の復習		
6	外科的歯内療法・外傷						【事前】	歯根端切除・意図的再植・歯の脱臼		
							【事後】	確認プリント		
7	安全対策と予後管理						【事前】	偶発症(穿孔)への対応・治癒判定		
							【事後】	確認プリント		
8	重要事項解説とまとめ						【事前】	プリント学習		
							【事後】	確認プリント		
9	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
10	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
11	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
12	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
13	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
14	演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
15	まとめ						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。				
	2. 授業姿勢	30 %				①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。				
	3. テストその他	50 %				理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	歯周治療学ⅡA						学期	前 期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯周病の成因と病態を理解し、歯周組織の健康維持および歯周治療を支えるための基礎的知識を身につける。								
授業内容	歯周病の成因、進行過程および歯周組織の変化について、検査・治療の流れを踏まえて学ぶ。								
学習目標	歯周病の知識と治療の考え方を理解し、歯周治療に必要な知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯周病学第2版								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	正常な歯周組織の構造と機能	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	歯周病の分類とインプラント周囲疾患	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	歯周治療の流れと検査	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	歯周基本治療	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	歯周外科治療1	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	歯周外科治療2	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	口腔機能回復治療とメンテナンス	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科補綴学ⅡA						学期	前	期
担当教員	直江 慎也山崎 史晃	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	補綴治療の基本的な考え方を理解し、クラウン・ブリッジ、およびインプラント補綴による欠損補綴について、口腔機能の回復を支えるための基礎的知識を身につける。								
授業内容	補綴治療の総論を踏まえ、クラウン・ブリッジ、有床義歯およびインプラント補綴について、構造、材料および治療の流れを学ぶ。								
学習目標	補綴治療の考え方と各種補綴装置の特徴を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科補綴学								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	歯科補綴の概要(総論) 歯科補綴学概論、歯の欠損と補綴治療の意義					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅠ編-1章(1P-30P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
2	補綴歯科治療の基礎知識(総論) 補綴治療の基礎事項(顎位、咬合、対合関係)					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅠ編-2章(31P-48P)□		
						【事後】	該当範囲の復習		
3	補綴歯科治療における検査(各論) 検査・診断(口腔内外検査、画像診断)					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-1章(50P-69P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
4	クラウン・ブリッジ治療 クラウン・ブリッジ治療①:概要					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-2章(70P-77P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
5	クラウン・ブリッジ治療 クラウン・ブリッジ治療②:治療の流れ					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-2章(78P-99P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
6	クラウン・ブリッジ治療 クラウン・ブリッジ治療③:トラブルと対応					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-2章(100P-109P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
7	有床義歯治療 全部床義歯治療①:概要					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-3章(110P-149P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
8	有床義歯治療 全部床義歯治療②:装着・指導・メンテナンス					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-3章(110P-149P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
9	有床義歯治療 部分床義歯治療①:概要					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-3章(150P-181P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
10	有床義歯治療 部分床義歯治療②:装着・トラブル対応					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-3章(150P-181P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
11	インプラント治療 インプラント治療①:概要					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-4章(182P-214P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
12	インプラント治療 インプラント治療②:流れと診療補助					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-4章(182P-214P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
13	インプラント治療 インプラント治療③:併発症など					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-4章(182P-214P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
14	殊な口腔内装置、器材の管理 顎補綴、睡眠時無呼吸症候群、滅菌消毒など					【事前】	教科書該当範囲を予習するⅡ編-5.6章(215P-232P)		
						【事後】	該当範囲の復習		
15	まとめ					【事前】	テキストの予習		
						【事後】	該当範囲の復習		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)基づき評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科矯正学ⅡA						学期	後 期	
担当教員	畑 賢佑	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	矯正歯科治療における内容を理解し、臨床に適應できる知識を身につける。								
授業内容	不正咬合の分類と成因、矯正治療の基本的な装置および治療の流れについて、口腔機能との関連を踏まえて学ぶ。								
学習目標	矯正治療の考え方と装置の特徴を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ矯正歯科学第2版								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	歯科矯正学総論 成長発育	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	咬合	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	検査と診断 矯正歯科治療における生体力学と生体反応	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	矯正歯科治療と装置	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	矯正歯科治療の実際 矯正歯科治療に伴うリスクとその反応	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	矯正歯科治療に用いる器材と使用の手順	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	口腔機能療法 矯正歯科治療における口腔衛生管理と指導 矯正歯科治療に関わる歯科衛生の実践	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	高齢者・障がい者歯科学ⅡA						学期	後 期	
担当教員	中島 努 山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	高齢者および障がいのある対象者の心身の特性を理解し、安全で尊厳を守った歯科医療を提供するための基礎的知識・技術・態度を修得する。								
授業内容	加齢や障がいに伴う全身・口腔機能の変化、全身疾患との関連、摂食嚥下機能、行動特性への対応、訪問歯科診療や多職種連携について学ぶ。								
学習目標	高齢者・障がい者の特性を踏まえた適切な口腔管理および歯科診療補助を安全に実践できる基礎的能力を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ高齢者歯科学、障害者歯科学第2版								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	障がい者歯科学概論	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
2	知的障害・発達障害の特徴と歯科医療	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
3	身体障害・精神障害の特徴と歯科医療	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
4	障害者の歯科医療の実際	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
5	障がい者歯科における歯科衛生士の役割・健康支援と口腔衛生管理	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
6	障がい者歯科における歯科衛生士の役割・摂食嚥下障害への対応	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
7	障がい者歯科における医療連携・安全管理	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
8	障がい者歯科における、保健指導・まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
9	高齢者社会の現状	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
10	加齢による身体的・精神的変化と疾患	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
11	高齢者の上程の把握・全身的疾患との関わりかた	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
12	高齢者の口腔内状態・健康管理・口腔機能低下・検査	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
13	高齢者摂食嚥下状態・リハビリテーション	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
14	高齢者に関わる医療と介護・地域連携	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
15	高齢者に関わる歯科衛生士の役割	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	確認ワーク						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器具などが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	口腔外科・歯科放射線学ⅡA					学期	後 期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数
								2
学習目的	口腔外科領域における主な疾患や外科処置の基本的な考え方を理解し、安全な歯科医療を支えるための基礎的知識を身につける。 歯科放射線検査の目的と原理を理解し、安全で適切な放射線利用を支えるための基礎的知識を身につける。							
授業内容	口腔外科領域の代表的な疾患、外科処置の概要および周術期管理の基礎について学ぶ。 歯科放射線検査の目的と原理を理解し、安全で適切な放射線利用を支えるための基礎的知識を身につける。							
学習目標	口腔外科治療の基本的な知識と考え方を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的知識を身につける。 歯科放射線検査の基本を理解し、安全管理および歯科診療補助に必要な基礎的知識を身につける。							
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ口腔外科学・歯科麻酔学第2版							
週数	授業計画					事前・事後の学習		
1	口腔外科の概要 先天異常と発育異常、損傷	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
2	粘膜疾患、炎症、嚢胞、腫瘍	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
3	顎関節疾患、唾液腺疾患、神経系疾患、血液疾患、口腔心身症	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
4	口腔外科の診療の実際	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
5	歯科治療と麻酔	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
6	まとめ	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
7	歯科衛生士が担う周術期の口腔健康管理	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
8	まとめ	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
9	放射線と歯科医療	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
10	口腔内エックス線撮影法	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
11	パノラマエックス線撮影法	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
12	歯科用コーンビームCT その他の画像検査法	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
13	歯科エックス線画像の観察 がんの放射線治療と口腔健康管理	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
14	演習	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
15	まとめ	【事前】	テキストの予習					
		【事後】	該当範囲の復習					
	評価項目/割合	評価内容						
評価基準	1. 課題 20%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢 30%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他 50%	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他								

科目名	小児歯科学 II A						学期	前 期	
担当教員	中島 努	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	小児期の口腔管理を達成するために行われるチーム医療を知り、その中で歯科衛生士の果たす役割を理解する。								
授業内容	配布資料を活用しながら、講義・グループワーク・発表・実習形式								
学習目標	小児の特徴・特性を理解する。健全な口腔機能を有する永久歯列を導くために重要な役割を担う小児期の口腔管理について理解する。								
使用テキスト	歯科衛生士教本（小児歯科）医歯薬出版会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	小児歯科学概論・心身の発達	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
2	小児の歯科疾患	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
3	小児の生理的特徴・顔面当該の発達	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
4	歯列及び歯の発育とその異常	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
5	小児期の特徴・小児虐待・小児歯科における患者との対応	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
6	小児におけるう蝕予防・口腔健康管理・口腔機能不全症	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
7	小児歯科の機材と管理	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
8	小児歯科における診査・検査・医療面接・母親教室	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
9	小児歯科診療における診療補助・歯科衛生士の役割 ①	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
10	小児歯科診療における診療補助・歯科衛生士の役割 ②	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
11	小児歯科における診療補助・歯周疾患・口腔軟組織の異常と疾患	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
12	小児歯科における診療補助・歯内療法・歯冠修復	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
13	小児歯科における診療補助・麻酔法・外科処置・外傷の処置・咬合・矯正	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
14	小児障がい者歯科 母親教室作成	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
15	小児歯科まとめ・発表	【事前】	教科書予習						
		【事後】	復習プリント						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	事前に課題を与え、学習して、資料として提出する。授業終了後より深く調べ資料としての提出物の評価							
	2. 授業姿勢 30 %	予習をしっかり行っているか。授業参加度が積極的かどうか、グループワークの時の発言や参加度の様子							
	3. テストその他 50 %	小テスト、期末テストの結果の平均点。間違ったところの直しの様子							
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	7月～8月に臨地実習を予定している								

科目名	歯科予防処置論 I A						学期	前 期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科予防処置の全体像と基本概念を理解し、歯科衛生士として必要な器具・環境・安全意識の基礎を身につける。								
授業内容	歯科予防処置の全体像と基本概念を理解し、歯科衛生士として必要な器具・環境・安全意識の基礎を理解する。								
学習目標	予防処置の目的と歯科衛生士の役割を説明できる 基本器具の名称・役割を理解できる								
使用テキスト	歯科衛生士学シリーズ予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	歯科予防処置の概要	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	歯科衛生士の「予防」の役割	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	プローブを知る	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	「測る」とはどういうことか	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	スケーラーの種類と役割	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	刃がある道具の意味	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	超音波スケーラーのしくみ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	音と振動のひみつ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	手用と超音波、どう違う?	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	プラークの正体	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	プラークの正体	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	歯面清掃の考え方	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	患者さんにとっての予防	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	安全に行うために大切なこと	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器具などが机上に整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 40 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科予防処置論 I B						学期	後 期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	う蝕および歯周病の予防処置の理論と基本的実際を理解し、模型上で基礎操作を実施できる力を養う。								
授業内容	う蝕および歯周病の予防処置の理論と基本的実際を理解し、模型上で基礎操作を実施する。								
学習目標	う蝕・歯周病と予防処置の関連を説明できる 基本的な予防処置の流れを理解できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	う蝕の成因と予防の考え方	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	フッ化物応用の理論	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	テキストの予習						
3	シーラントの意義	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	う蝕リスクの考え方	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	歯周病の基礎	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	歯周ポケットと炎症	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	ブローピング理論	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	スケーリングの目的	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	超音波スケーラー理論	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	手用スケーラー理論	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	部位別の注意点	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	処置順序の考え方	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	安全管理と偶発症予防	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	ケーススタディ基礎	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机の上に整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科予防処置演習 I A						学期	前期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科予防処置の全体像と基本概念を理解し、歯科衛生士として必要な器具・環境・安全意識の基礎を身につける。								
授業内容	歯科予防処置の全体像と基本概念を理解し、歯科衛生士として必要な器具・環境・安全意識の基礎を理解する。								
学習目標	予防処置の目的と歯科衛生士の役割を説明できる 基本器具の名称・役割を理解できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	実習室オリエンテーション								
2	ユニットを見てみよう								
3	器具に触れてみよう								
4	プローブの持ち方								
5	模型で測定体験								
6	スケーラーを持つ								
7	基本姿勢を身につける								
8	超音波器具の確認								
9	水量・吸引を体験								
10	歯石を観察する								
11	基本操作をやってみる								
12	安全確認動作								
13	処置の流れを体験								
14	相互確認								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況					
	2. 授業姿勢	30 %		①規律ある立礼、身だしなみ ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時に必要器材が整っているか)					
	3. テストその他	40 %		理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科予防処置演習 I B						学期	後 期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	う蝕および歯周病の予防処置の理論と基本的実際を理解し、模型上で基礎操作を実施できる力を養う。								
授業内容	う蝕および歯周病の予防処置の理論と基本的実際を理解し、模型上で基礎操作を実施する。								
学習目標	う蝕・歯周病と予防処置の関連を説明できる 基本的な予防処置の流れを理解できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	プロービング基礎確認								
2	全顎測定練習								
3	超音波基本操作								
4	前歯部スケーリング								
5	臼歯部スケーリング								
6	手用スケーラー基礎								
7	歯面清掃基礎								
8	部位別練習1								
9	部位別練習2								
10	処置順序練習								
11	相互実習導入								
12	タイム意識練習								
13	一連の流れ通し練習								
14	技術確認								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、身だしなみ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時に必要器材整っているか)						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科予防処置演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	1年次の基礎技術を安定させ、精度を高める。								
授業内容	1年次の基礎技術を安定させ、精度を高める。								
学習目標	全顎操作を一定精度で実施できる 技術の意味を説明できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	基本操作総確認								
2	全顎プロービング精度向上								
3	記録の正確性								
4	超音波操作強化 1								
5	超音波操作強化 2								
6	手用操作強化 1								
7	手用操作強化 2								
8	前歯部徹底								
9	臼歯部徹底								
10	歯面清掃精度向上								
11	相互評価								
12	タイム管理								
13	模擬実技1								
14	修正練習								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、身だしなみ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時に必要器材が整っているか)						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	-								

科目名	歯科予防処置演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	症例を想定し、器具選択と判断力を養う。								
授業内容	症例を想定し、器具選択と判断力をつける。								
学習目標	症例に応じた器具選択ができる 一連の処置を通して実施できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	症例導入								
2	器具選択演習								
3	軽度症例対応								
4	中等度症例対応								
5	重度症例想定								
6	手用・超音波使い分け								
7	部位別症例 1								
8	部位別症例 2								
9	通し練習 1								
10	通し練習 2								
11	模擬実技 1								
12	フィードバック								
13	再演習								
14	模擬実技 2								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、身だしみ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時に必要器材が整っているか)						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	-								

科目名	歯科予防処置演習ⅢA						学期	前期	
担当教員	村下 明美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	臨床を想定した予防処置を安全かつ適切に実施できる力を完成させる。								
授業内容	臨床を想定した予防処置を安全かつ適切に実施できる力を完成させる。								
学習目標	患者状況に応じた処置判断ができる 一連の予防処置を実施できる								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	総合確認								
2	全顎通し練習								
3	症例対応 1								
4	症例対応 2								
5	時間制限演習								
6	説明を含めた実習								
7	安全確認徹底								
8	応用症例								
9	模擬実技 1								
10	フィードバック								
11	修正練習								
12	模擬実技 2								
13	総合通し								
14	最終確認								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、身だしなみ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時に必要器材が整っているか)						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科保健指導論 I A						学期	前 期	
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	口腔の健康を保持増進し、身体的・精神的・社会的な健康を実現できるよう歯科保健指導できるようにする。								
授業内容	教科書内容の講義の他学生がグループで現状を調べ、資料や動画を用いて視覚的に授業を行う。								
学習目標	ライフステージ別・環境別に歯科保健活動について説明・立案・実践できる。								
使用テキスト	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版株式会社								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	歯科保健指導の定義 ・保健指導の定義 ・歯科衛生士法における保健指導 ・平均寿命と健康寿命	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
2	健康の概念 ・健康とは ・生活習慣と健康 ・プライマリーヘルスケア ・メタボリックシンドローム	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
3	保健指導とヘルスプロモーション	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
4	う蝕と歯周病の基礎知識 ① 細菌	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
5	う蝕と歯周病の基礎知識 ② デンタルプラーク	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
6	う蝕に関する保健指導・食事指導	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
7	歯周病に関する保健行動支援・生活環境背景の情報収集	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
8	口腔の観察・DMF	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
9	口腔の観察・PMA	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
10	口腔の観察・オレリーのプラークコントロールレコード	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
11	口腔衛生管理としての歯科保健指導・口腔清掃法・機械的歯面清掃	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
12	口腔衛生管理としての歯科保健指導 歯ブラシの種類・音波歯ブラシ	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
13	口腔衛生管理としての歯科保健指導・補助道具	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
14	口腔衛生管理としての歯科保健指導・歯磨剤・洗口剤	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
15	ケースプレゼンテーション・歯科衛生士過程立案	【事前】	教科書予習						
		【事後】	確認ワーク・課題レポート						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況							
	3. テストその他 40 %	筆記・実技 に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科保健指導論 I B						学期	後 期		
担当教員	山田尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	口腔の健康を保持増進し、身体的・精神的・社会的な健康を実現できるよう歯科保健指導できるようにする。									
授業内容	教科書内容の講義の他学生がグループで現状を調べ、資料や動画を用いて視覚的に授業を行う。									
学習目標	ライフステージ別・環境別に歯科保健活動について説明・立案・実践できる。									
使用テキスト	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版株式会社									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	前期復習						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
2	ライフステージにおける歯科衛生活動 食事行動と食事機能の特徴						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
3	ライフステージにおける歯科衛生活動・妊産婦期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
4	ライフステージにおける歯科衛生活動・新生児期・乳児期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
5	ライフステージにおける歯科衛生活動・幼児期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
6	ライフステージにおける歯科衛生活動・学童期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
7	ライフステージにおける歯科衛生活動青年期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
8	ライフステージにおける歯科衛生活動・成人期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
9	ライフステージにおける歯科衛生活動・老年期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
10	ライフステージにおける歯科衛生活動・要介護期						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
11	ライフステージにおける歯科衛生活動・障がい者						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
12	災害時における保健指導						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
13	歯科衛生士過程立案・症例からとる情報収集と情報整理・グループワーク						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
14	症例発表						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
15	歯科保健指導まとめ・基礎知識・情報整理・食生活指導・口腔観察から生活指導・評価法・地域エビデンス情報調べる・コミュニケーション技法						【事前】	教科書予習		
							【事後】	確認ワーク・課題レポート		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %				①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況				
	2. 授業姿勢	30 %				①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況				
	3. テストその他	40 %				筆記・実技 に基づき評価する。				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	歯科保健指導演習 I A						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科保健指導の基礎となる各種清掃用具の特性を理解し、自己の口腔管理を確立するとともに、相互演習を通じた基本手技を習得する。								
授業内容	自分自身の口腔内観察から始まり、各種清掃用具の選択・使用法を学ぶ。各自の100%磨きや相互演習を通じ、術者としての基礎を築く。□								
学習目標	各種清掃用具を適切に選択・操作でき、染め出し結果に基づき効率的なブラッシング法を自分自身や他者へ実践・説明できる。□								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション・口腔清掃自習法□								
2	歯ブラシ研究								
3	歯ブラシ検討・演習1								
4	歯ブラシ検討・演習2								
5	フロッシング演習								
6	歯間・タフトブラシ演習								
7	歯磨剤検討演習								
8	洗口液・洗口剤検討演習								
9	口腔衛生指導演習1								
10	口腔衛生指導演習2								
11	□ 実技まとめ								
12	口腔衛生指導演習 相互演習1								
13	口腔衛生指導演習 相互演習2								
14	口腔衛生指導演習 相互演習3								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況に基づき評価する。						
	3. テストその他	40 %	筆記・実技に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科保健指導演習 I B						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科衛生過程の基礎を学び、対象者に応じたアセスメント能力を養う。ライフステージ別の特性を理解し、効果的な集団指導を実践する。								
授業内容	補助用具を用いた術者磨きやPCRの相互演習を深める。また、幼児期を対象とした指導案作成や媒体制作、プレゼンテーションを行う。□								
学習目標	歯科衛生過程の流れを理解して必要な介入を導き出せる。また幼児期の特性に合わせた媒体を制作し、適切な表現で指導を実践できる。□								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	各種手用口腔清掃用具による術者磨き1								
2	各種手用口腔清掃用具による術者磨き2								
3	各種手用口腔清掃用具による術者磨き3								
4	オレリーのPCRチャート相互演習1口								
5	オレリーのPCRチャート相互演習2								
6	オレリーのPCRチャート相互演習3口								
7	歯科衛生過程演習 概要								
8	歯科衛生過程演習 相互演習1								
9	歯科衛生過程演習 相互演習2								
10	歯科衛生過程演習 相互演習3								
11	乳幼児への口腔清掃法プレゼンテーション演習1								
12	乳幼児への口腔清掃法プレゼンテーション演習2								
13	乳幼児への口腔清掃法プレゼンテーション発表								
14	全体の振り返り、小規模歯科保健指導媒体作り								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %		①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況					
	2. 授業姿勢	30 %		①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況					
	3. テストその他	40 %		筆記・実技に基づき評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科保健指導演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	一年次の実習を客観的に分析し、自己の課題を明確化するとともに、歯科衛生過程を用いた個別対応の基礎能力を養う。								
授業内容	SOAPの概念を習得し、成人・高齢者の特性に合わせたアセスメントと清掃用具の選択を演習する。								
学習目標	SOAPの概念を理解して正確に記述でき、症例の口腔状態や生活背景からリスクを分析し、根拠に基づいた個別清掃計画を立案できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション								
2	集団指導の自己分析1								
3	集団指導の自己分析2								
4	SOAPの概念1(S・O)								
5	SOAPの概念2(A・P)								
6	清掃用具の処方と根拠1								
7	清掃用具の処方と根拠2								
8	相互実習とOの記録								
9	生活背景の聞き取り術								
10	成人の歯科保健指導1								
11	成人の歯科保健指導2								
12	高齢者の歯科保健指導1								
13	高齢者の歯科保健指導2								
14	個別指導案の作成演習								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況						
	3. テストその他	40 %	筆記・実技に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科保健指導演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	多角的な視点でのアセスメント能力を高め、臨床実習に向けた実践的なコミュニケーション技術と、根拠に基づく記録の正確性を習得する。□								
授業内容	食事分析や難症例のケーススタディ、周術期を見据えた総合症例検討を実施。ロールプレイを通じて、対象者に寄り添う実践力を養う。□								
学習目標	複雑な症例に対し、優先順位に基づいた計画立案ができる。また他職種への伝達を意識した論理的なSOAP記述と実技を実践できる。□								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	ケーススタディ1								
2	ケーススタディ2								
3	栄養・食事分析演習1								
4	栄養・食事分析演習2								
5	媒体制作の工夫								
6	術者磨きの応用1								
7	術者磨きの応用2								
8	ケーススタディ3								
9	ケーススタディ4								
10	ロールプレイ:抵抗への対応								
11	記録(SOAP)の総点検								
12	総合症例検討1								
13	総合症例検討2								
14	総合演習ロールプレイ								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況に基づき評価する。						
	3. テストその他	40 %	期末テストに基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科保健指導演習ⅢA						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	臨床実習経験に基づき歯科衛生過程を深化させ、対象者の生活に寄り添う伴走型支援と下級生への指導力を養う。								
授業内容	臨地実習症例の再分析や伴走型会話演習を通じ、対象者に寄り添う個別支援計画を立案。補講期間には下級生への実地指導を行う。								
学習目標	困難症例をSOAPで分析し解決策を提案できる。また、後輩に対し専門知識を分かりやすく翻訳し指導できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション								
2	臨地実習症例の再構築1								
3	臨地実習症例の再構築2								
4	臨地実習症例の再構築3								
5	臨地実習症例の再構築4								
6	伴走型会話演習1								
7	伴走型会話演習2								
8	伴走型会話演習3								
9	伴走型会話演習4								
10	臨床的判断の訓練1								
11	臨床的判断の訓練2								
12	臨床的判断の訓練3								
13	下級生への指導準備1								
14	下級生への指導準備2								
15	まとめ								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30%	①宿題、課題の期限内提出、②レポート・媒体の完成度、③配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30%	①規律ある立礼・学習態度 ②積極的な学習態度 ③授業準備状況に基づき評価する。						
	3. テストその他	40%	期末テストに基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科診療補助論 I A						学期	前 期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。								
授業内容	歯科診療の補助の重要性を理解し、感染予防を含めた診療室における医療安全管理ができる能力を養う。								
学習目標	歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助概論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	オリエンテーション・歯科診療補助の概要	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	感染予防(1)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	感染予防(2)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	消毒・滅菌(1)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	消毒・滅菌(2) まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	印象材(1)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	模型材	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	診療設備の管理・事務管理	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	患者対応(1)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	患者対応(2)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	患者対応(3)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	衛生材料 1	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	診療前準備から片付けまでの一連動作演習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	復習・実技総合	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	40 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習状況(発言や質問) ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器材などが整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	30 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。□						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科診療補助論ⅠB						学期	後 期		
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。									
授業内容	歯科診療の補助の重要性を理解し、感染予防を含めた診療室における医療安全管理ができる能力を養う。									
学習目標	歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。									
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助概論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	前期復習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
2	共同動作(2)バキューム部位別強化						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
3	共同動作(3)ミラーなど						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
4	共同動作(4)器材受け渡し基礎						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
5	共同動作(5)受け渡し+バキューム連動						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
6	合着・接着材の演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
7	光重合器の演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
8	その他の印象材						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
9	ラバーダム						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
10	歯肉圧排						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
11	スタディーモデル制作(1)						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
12	スタディーモデル制作(2)						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
13	形成・修復通し補助演習						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
14	総合リハーサル						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
15	まとめ						【事前】	テキストの予習		
							【事後】	該当範囲の復習		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。				
	2. 授業姿勢	30 %				①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器材などが整っているか)に基づき評価する。				
	3. テストその他	40 %				理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	歯科材料・歯科機器 I A						学期	後 期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科医療で使用される材料の性質と用途を理解し、安全で適切な歯科診療を支えるための基礎的知識を身につける。								
授業内容	治療などで用いられる歯科材料について、種類、性質および取り扱いの基礎を学ぶ。								
学習目標	歯科材料の基本的特性と用途を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的知識を身につける。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科材料、歯科機器								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	歯科衛生士にかかわる材料、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	歯科材料の基礎知識	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	印象材	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	模型用材料	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	合着材・接着材	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	成形修復材、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	歯冠修復にかかわる材料、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	仮封材、暫間修復材、仮着用セメント	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	WAX、金属、セラミックス	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	歯科補綴にかかわる材料、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	歯科保存にかかわる材料、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	口腔外科にかかわる材料、機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	矯正歯科、小児歯科にかかわる材料機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	歯科用画像診断装置、口腔内写真撮影用機器	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。							
	2. 授業姿勢 30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器材などが整っているか)に基づき評価する。							
	3. テストその他 50 %	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科診療補助演習 I A						学期	前期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科診療補助の基礎として、感染予防を含む安全管理を理解し、診療室で必要となる基本的な知識・技術・態度を身につける。								
授業内容	感染管理、印象採得や石膏模型製作、衛生材料の操作、患者応対および共同動作の基礎を演習を通して学び、診療補助の基本を体系的に理解する。								
学習目標	歯科衛生士として診療補助業務に対応できるよう、基本的な補助動作と患者への適切な対応を指導のもとで実践できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画								
1	ユニット操作								
2	1, 2年合同授業 手指消毒(非観血処置)診療の後片づけ								
3	手指消毒(観血処置)								
4	手指消毒、準備、後片づけ								
5	手指消毒、準備、後片づけ実技まとめ								
6	印象材(1)								
7	模型材								
8	共同動作(1)								
9	患者応対(1)第一印象と基本動作								
10	患者応対(2)診療場面での応対								
11	患者応対(3)困難場面对応								
12	衛生材料								
13	診療前準備から片付けまでの一連動作演習								
14	実技総合								
15	実技評価、振り返り								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみを整え、私語や居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科診療補助演習 I B						学期	後 期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	歯科診療補助に必要な共同動作および材料操作の理解を深め、診療の流れを意識した実践的な補助能力を身につける。								
授業内容	バキューム操作や器材受け渡しの精度向上、接着材・合着材・印象材などの材料操作、ラバーダムや歯肉圧排の基礎理解、スタディーモデル製作および形成・修復処置の通し演習を行う。								
学習目標	歯科衛生士として診療補助業務を円滑に行うために、材料の特性と時間管理を理解し、模型上で処置の流れに沿った補助動作を実践できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画								
1	前期復習(バキューム基本姿勢確認)								
2	共同動作(2)バキューム部位別強化								
3	共同動作(3)ミラーなど								
4	共同動作(4)器材受け渡し基礎								
5	共同動作(5)受け渡し+バキューム連動								
6	合着・接着材の演習								
7	光重合器の演習								
8	合成ゴム印象材の演習								
9	ラバーダム								
10	歯肉圧排								
11	スタディーモデル制作(1)								
12	スタディーモデル制作(2)								
13	形成・修復通し補助								
14	総合リハーサル								
15	実技								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみ、私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)を評価する。						
	3. テストその他	50 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科診療補助論ⅡA						学期	前 期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	臨地実習に備え、診療補助の原理・手順・安全管理の理論的理解を深める。								
授業内容	診療手順と材料特性、感染管理および医療安全について理論的に整理する。								
学習目標	各処置の流れと補助者の役割を説明でき、材料の特性や時間管理を踏まえた判断ができる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1年の復習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	形成修復の補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	仮封・仮着の補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	暫間被覆冠	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	ラバーダム	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	暫間被覆冠+ラバーダム	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	保存修復時の診療補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	歯内療法時の診療補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	補綴治療時の診療補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	エックス線撮影時の診療補助	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	復習	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	診療想定①	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	診療想定②	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	実習前教育	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	まとめ、振り返り	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。							
	2. 授業姿勢 30%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、器材などが整っているか)を評価する。							
	3. テストその他 50%	理解度を測るための筆記試験の得点に基づき評価する。							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	歯科診療補助論ⅡA						学期	前期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	臨地実習において円滑に補助を行えるよう、実践的技能を完成させる。								
授業内容	症例を想定した通し演習を反復し、予測力と時間管理を含めた補助動作の安定化を図る。								
学習目標	安全に配慮しながら処置に応じた補助動作を実践できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助概論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画								
1	1年の復習								
2	形成修復の補助								
3	仮封・仮着の補助								
4	暫間被覆冠								
5	ラバーダム								
6	暫間被覆冠+ラバーダム								
7	印象材(2)連合印象								
8	印象材(3)連合印象								
9	歯周基本治療補助								
10	エックス線撮影時の診療補助								
11	復習								
12	診療想定①								
13	診療想定②								
14	実習前教育①								
15	まとめ、振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみを整える、私語や居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科診療補助演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	専門分野の診療補助を実践的に体験し、応用力を高める。								
授業内容	症例別通し演習を行い、実習経験を踏まえた応用的補助技能を習得する。								
学習目標	症例の特性に応じて補助方法を調整し、安全かつ安定した補助動作を実践できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助概論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画								
1	口腔内写真①(マネキン)								
2	口腔内写真②(相互実習)								
3	口腔機能低下症①								
4	口腔機能低下症②								
5	配慮を要する患者への対応								
6	周術期における歯科診療補助								
7	小児歯科治療時の診療補助								
8	矯正治療時の診療補助								
9	歯周外科治療における診療補助								
10	口腔外科治療時の診療補助								
11	歯科麻酔時の診療補助								
12	高齢者・障がい者の診療補助								
13	歯科訪問診療における対応								
14	救急救命処置								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみを整える、私語や居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)を評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。□□						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	歯科診療補助演習ⅢA						学期	前期	
担当教員	穴戸 美千代	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	これまでの学習と臨地実習経験を統合し、自立した歯科衛生士としての実践力を確立する。								
授業内容	臨地実習の総括、症例検討、総合補助演習および国家試験内容と関連付けた実践的確認を行う。								
学習目標	歯科衛生士として安全かつ安定した診療補助を主体的に実践し、自ら課題を見いだして改善できる。								
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ歯科診療補助概論第2版、歯科材料、歯科機器、ポケットマニュアル								
週数	授業計画								
1	実習症例共有								
2	エラー分析								
3	安全管理再確認 ヒヤリ・ハット検討								
4	血圧測定、全身状態のバイタルチェック実習								
5	小窩裂溝充填								
6	小窩裂溝充填								
7	症例統合補助								
8	症例統合補助								
9	材料トラブル対応演習								
10	急変時初期対応シミュレーション								
11	多職種連携を意識した補助								
12	午前診療シミュレーション								
13	午前診療シミュレーション								
14	最終演習								
15	3年間総括振り返り								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみを整える、私語や居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)評価する。						
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための実技試験の得点に基づき評価する。□□						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	臨地実習 I A							学期	後 期
担当教員	実習先指導教員	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	1
学習目的	歯科医療現場を見学することを通して、医療人として求められる基本的態度と心構えを身につけるとともに、歯科医院における一日の業務の流れと歯科衛生士の役割を理解し、今後の学内学習への動機づけを高める。								
授業内容	歯科医院における一日の業務の流れ、歯科衛生士の業務内容および多職種連携、患者対応の実際を見学し、実習前後のオリエンテーションと振り返りを通して学びを整理する。								
学習目標	見学にふさわしい態度と心構えを身につけ、受付から処置・退社までの歯科医療の流れを理解するとともに、歯科衛生士の専門的役割を見学を通して把握する。								
使用テキスト	実習施設ごとのマニュアル								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合				評価内容				
評価基準	1. 課題	50 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であることを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	実習に臨む態度、身だしなみ、言葉遣い、報告・連絡・相談、積極性など、医療人としての基本的姿勢を総合的に評価する。						
	3. テストその他	20 %	実習内容に関する理解度を確認する筆記または口頭試問を実施し、歯科医療の流れおよび歯科衛生士の役割に関する理解を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	臨地実習ⅡA						学期	前期	
担当教員	実習先指導教員	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	5
学習目的	歯科医療現場において、学内で修得した基礎的知識・技術・態度を実践に結びつけ、歯科衛生士として必要な基本的実践力と職業倫理観を身につける。								
授業内容	臨床における歯科衛生士業務全般に指導のもとで参加し、患者対応や感染対策、診療の基本的な流れおよびチーム医療の基礎を学ぶ。								
学習目標	医療人として適切な態度・言動を実践し、患者の立場に配慮した対応ができるとともに、自己の課題を整理して改善に向けて主体的に取り組むことができる。								
使用テキスト	実習施設ごとのマニュアル								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	実習記録・レポートの内容を中心に、観察・実践内容の具体性、根拠に基づく記述、自己課題の明確さを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	医療人としての基本的態度、責任ある行動、報告・連絡・相談の実践状況を総合的に評価する。						
	3. テストその他	20 %	実習内容に関する理解度を確認する課題または口頭試問を実施し、歯科医療の流れおよび歯科衛生士の役割に関する理解を評価する。口						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	臨地実習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	実習先指導教員	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	3
学習目的	歯科医療現場において、基礎的知識・技術・態度を実践の中で確実なものとし、患者の状況に応じて適切に行動できる基本的実践力を養う。								
授業内容	臨床における歯科衛生士業務全般を指導のもとで実践し、患者の状況に応じた対応や感染管理、チーム医療の実際を体験的に学ぶ。								
学習目標	医療人としての自覚をもって適切に行動し、患者の状況や背景に配慮した対応を実践するとともに、自己の課題を分析し改善に向けて主体的に取り組むことができる。								
使用テキスト	実習施設ごとのマニュアル								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	実習記録・レポートの内容を中心に、観察・実践内容の具体性、根拠に基づく記述、自己課題の明確さを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	医療人としての基本的態度、責任ある行動、報告・連絡・相談の実践状況を総合的に評価する。						
	3. テストその他	20 %	実習内容に関する理解度を確認する筆記または口頭試問を実施し、歯科医療の流れおよび歯科衛生士の役割に関する理解を評価する。口						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	臨地実習ⅢA						学期	前期	
担当教員	実習先指導教員	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	8
学習目的	臨床における歯科衛生士業務全般を主体的に実践することを通して、専門職としての責任と判断力を備えた統合的実践力を養う。								
授業内容	歯科衛生士業務全般を主体的に実践し、患者の状態や治療方針を踏まえた対応、多職種との連携および安全管理の実際を総合的に学ぶ。								
学習目標	医療人としての自覚と責任をもって主体的に行動し、患者の状態や背景を踏まえて適切に判断・対応するとともに、専門職として自己の課題を明確にし継続的に改善できる。								
使用テキスト	実習施設ごとのマニュアル								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	実習記録およびレポートにおいて、臨床内容を分析・考察し、歯科衛生士としての役割を根拠に基づいて記述できているかを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	医療人としての自覚と責任をもち、主体的かつ安定した行動ができているかを評価する。						
	3. テストその他	20 %	診療の流れや歯科衛生士業務を統合的に理解し、根拠をもって説明できるかを評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	臨地実習ⅢB						学期	後 期	
担当教員	実習先指導教員	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	3
学習目的	実習内容に関する理解度を確認する筆記または口頭試問を実施し、歯科医療の流れおよび歯科衛生士の役割に関する理解を評価する。□								
授業内容	病院歯科における診療補助や専門的口腔管理、周術期口腔機能管理および医科歯科連携の実際を見学・実践し、感染対策や安全管理体制について学ぶ。								
学習目標	全身状態を踏まえた歯科衛生士の役割と多職種連携の意義を理解し、周術期口腔管理を含む病院歯科医療の実践内容を説明できる。								
使用テキスト	実習ノート								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	実習記録・レポートの内容を中心に、観察・実践内容の具体性、根拠に基づく記述、自己課題の明確さを評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	医療人としての自覚と責任をもち、主体的かつ安定した行動ができてきているかを評価する。□						
	3. テストその他	20 %	診療の流れや歯科衛生士業務を統合的に理解し、根拠をもって説明できるかを評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	総合実習ⅡA						学期	後 期	
担当教員	訪問先指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科関連企業の役割を専門的視点から理解し、歯科衛生士としてのキャリア形成について主体的に考える力を養う。								
授業内容	企業見学や質疑応答、事例検討を通して、歯科医療と産業との関係や専門職としての多様な働き方を学び、自己の将来像を整理する。								
学習目標	歯科関連企業の機能と歯科衛生士の職域拡大の可能性を理解し、自身のキャリアビジョンを具体的に描くことができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	振り返りと目標設定								
2	企業研究の方法								
3	グループテーマ設定								
4	調査①								
5	質問項目作成								
6	訪問またはオンライン交流								
7	分析まとめ								
8	中間発表								
9	企業と臨床の連携事例								
10	地域と歯科の連携								
11	キャリアパスの多様性								
12	将来像の具体化								
13	キャリアプラン作成								
14	最終発表会								
15	総括								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	見学評価や発表より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	国家試験対策演習ⅡA						学期	後 期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	歯科衛生士国家試験に必要な基礎的知識の整理と定着を図り、出題傾向を踏まえた問題演習を通して応用力の基礎を養う。								
授業内容	国家試験出題基準に基づき、基礎科目および専門科目の重要事項の復習と整理を行い、過去問題および演習問題を用いて解答力と理解度の向上を図る。								
学習目標	国家試験に必要な基礎知識を体系的に整理し、頻出分野の問題を根拠に基づいて解答できる。								
使用テキスト	対策テキスト								
週数	授業計画								
1	国家試験の概要と出題基準の確認、学習方法の指導								
2	人体の構造と機能の基礎整理								
3	口腔解剖・生理の重要事項の確認								
4	口腔病理・口腔微生物の基礎								
5	歯周病学の基礎								
6	保存修復・歯内療法の重要事項整理								
7	補綴・矯正の基礎理解								
8	口腔外科・歯科放射線の基礎整理								
9	高齢者・障がい者歯科の要点確認								
10	歯科予防処置論の整理								
11	歯科保健指導論の整理								
12	歯科診療補助論の整理								
13	分野横断ミニ演習								
14	弱点分野の補強								
15	確認テストおよび振り返り								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	20%	演習問題、弱点分析シート、模試振り返りレポート等の提出状況および内容を評価する。						
	2. 授業姿勢	30%	授業への参加態度、演習への集中度、時間管理、継続的学習姿勢を総合的に評価する。						
	3. テストその他	60%	分野別確認テスト、総合演習、模擬試験結果により、国家試験レベルの理解度および得点力を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	国家試験対策演習ⅢA						学期	前期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	5
学習目的	国家試験合格に向けて知識を総合的に統合し、得点力の向上と安定した解答力の確立を目指す。								
授業内容	分野横断的な総合演習、模擬試験、弱点分析を行い、解答技術の向上と得点戦略の構築を図る。								
学習目標	国家試験レベルの問題を正確かつ安定して解答でき、自己の弱点を分析し改善に向けて計画的に学習できる。								
使用テキスト	対策テキスト								
週数	授業計画								
1	国家試験出題基準の再確認と学習計画立案								
2	分野横断総合演習①								
3	分野横断総合演習②								
4	総合模擬試験③								
5	総合模擬試験①								
6	模試分析・弱点補強								
7	総合模擬試験②								
8	模試分析・個別指導								
9	得点戦略確認								
10	頻出分野重点演習								
11	計算問題・図表問題対策								
12	実践形式演習								
13	総合模擬試験③								
14	最終弱点補強								
15	確認模試および分析								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	20 %	演習問題、弱点分析シート、模試振り返りレポート等の提出状況および内容を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への参加態度、演習への集中度、時間管理、継続的学習姿勢を総合的に評価する。						
	3. テストその他	50 %	分野別確認テスト、総合演習、模擬試験結果により、国家試験レベルの理解度および得点力を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	国家試験対策演習ⅢB						学期	後	期
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	5
学習目的	国家試験合格に向けて知識を総合的に統合し、得点力の向上と安定した解答力の確立を目指す。								
授業内容	分野横断的な総合演習、模擬試験、弱点分析を行い、解答技術の向上と得点戦略の構築を図る。								
学習目標	国家試験レベルの問題を正確かつ安定して解答でき、自己の弱点を分析し改善に向けて計画的に学習できる。								
使用テキスト	対策テキスト								
週数	授業計画								
1	前期模試分析と目標設定								
2	分野横断総合演習①								
3	分野横断総合演習②								
4	分野横断総合演習③								
5	模試分析・弱点補強								
6	総合模擬試験①								
7	総合模擬試験②								
8	総合模擬試験③								
9	模試分析・弱点補強								
10	実践形式演習								
11	実践形式演習								
12	実践形式演習								
13	最終弱点補強								
14	直前対策演習								
15	総まとめ・最終確認								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	20 %	演習問題、弱点分析シート、模試振り返りレポート等の提出状況および内容を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への参加態度、演習への集中度、時間管理、継続的学習姿勢を総合的に評価する。						
	3. テストその他	50 %	分野別確認テスト、総合演習、模擬試験結果により、国家試験レベルの理解度および得点力を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	介護の基本						学期	後 期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	4
学習目的	高齢者および要介護者の生活と尊厳を理解し、歯科衛生士として多職種と連携しながら安全かつ適切な支援を実践できる基礎的能力を養う。								
授業内容	介護の基本理念、生活支援技術、認知症理解、医療・福祉制度、コミュニケーション技法および口腔ケアを含む実践的介護技術を学ぶ。								
学習目標	介護の理念と倫理を踏まえ、高齢者および認知症の特性を理解したうえで、安全な生活支援技術を実践し、多職種連携における歯科衛生士の役割を明確にできるとともに、介護職員初任者研修修了に必要な知識・技能を修得する。								
使用テキスト	指定養成機関が使用する規定テキスト								
週数	授業計画								
1	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
2	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
3	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
4	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
5	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
6	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
7	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
8	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
9	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
10	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
11	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
12	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
13	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
14	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
15	指定養成機関が提供する、厚生労働省規定のカリキュラムに準拠して授業を構成する								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況に基づき評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(身だしなみを整え、私語や居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(テキストや器材が整っているか)に基づき評価する。						
	3. テストその他	40 %	筆記、実技						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	表現力							学期	前期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	学習を通して人とのふれあいを体験し、より良いリレーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを発揮しつつ、								
授業内容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク(応用インプロ、シアターゲーム)、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等のグループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。多様な人とのふれあいの中で、自己を知り他者を理解								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	テキストなし。適宜、プリントを配布。								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談カトレーニング								
4	対話と傾聴を学ぶ								
5	相手に伝わる話し方を学ぶ								
6	個人発表 SHOW&TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらないコミュニケーションを体験する								
8	インプロ(即興演劇)～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ(即興演劇)～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ①								
13	スピーチ②								
14	個人発表								
15	まとめと振り返り								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40 %	授業内での課題(実技やワーク)に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームに協力する姿勢以上の観点から総合的に評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物以上の観点から総合的に評価する。						
	3. テストその他	30 %	個人発表、グループ発表等。①発表の出来 ②そこに至るまでの過程 ③取り組み姿勢以上の観点から総合的に評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。								

科目名	就職支援 I A						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科衛生士として働くことへの理解を深め、就職に向けた基礎的な心構えと社会人としての基本姿勢を身につける。								
授業内容	歯科医院の種類や働き方の違い、社会人として求められるマナーやコミュニケーションの基礎について学び、自己理解を深める。								
学習目標	歯科衛生士の働き方を理解し、社会人として必要な基本的態度や行動を説明できる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について								
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
3	働くことの責任と意義								
4	仕事の基本となる8つの意識について								
5	仕事の決まりやしぐみを理解する								
6	人間関係とコミュニケーション 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	ビジネスマナーの基本								
8	ビジネス文章の書き方								
9	【礼儀としての身だしなみ】 スーツ着こなし								
10	臨地実習の事前授業								
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談								
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイント								
13	見学実習先の検討								
14	見学実習に向けての自己分析								
15	見学実習の目標設定 □								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援 I B						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科衛生士として働くことへの理解を深め、就職に向けた基礎的な心構えと社会人としての基本姿勢を身につける。								
授業内容	歯科医院の種類や働き方の違い、社会人として求められるマナーやコミュニケーションの基礎について学び、自己理解を深める。								
学習目標	歯科衛生士の働き方を理解し、社会人として必要な基本的態度や行動を説明できる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	前期振り返りと後期目標設定								
2	見学実習の振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	働く環境の違い(規模・地域・診療内容)								
5	業界・職業研究								
6	企業研究								
7	求人票の見方(基礎)								
8	労働条件の基本理解								
9	医療職としての倫理観								
10	性格診断①								
11	性格診断②								
12	適正能力①								
13	適正能力②								
14	自己分析								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援ⅡA						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	自己の強みや課題を整理し、希望する進路に向けた具体的な準備を進める力を養う。								
授業内容	求人票の見方、履歴書作成、面接対策、職場選択の視点について学び、自己分析および進路計画を行う。								
学習目標	自身の適性や希望を踏まえて進路を具体化し、就職活動に必要な準備を主体的に進めることができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション								
2	2年の目標設定(就職活動の流れ理解)								
3	非認知能力の振り返り③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	歯科医院の種類と特徴								
5	病院・施設勤務の特徴								
6	地域差と勤務環境の違い								
7	求人票の基礎理解								
8	労働条件の読み方(給与・勤務時間)								
9	見学時の視点								
10	見学マナー演習								
11	コミュニケーション実践演習								
12	チーム医療と人間関係								
13	将来像ワーク(5年後)								
14	希望条件整理								
15	非認知能力の振り返り(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援ⅡB						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	自己の強みや課題を整理し、希望する進路に向けた具体的な準備を進める力を養う。								
授業内容	求人票の見方、履歴書作成、面接対策、職場選択の視点について学び、自己分析および進路計画を行う。								
学習目標	自身の適性や希望を踏まえて進路を具体化し、就職活動に必要な準備を主体的に進めることができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	臨地実習の振り返り								
2	就職活動スケジュール確認								
3	非認知能力の振り返り(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	履歴書の構成理解								
5	志望動機の書き方								
6	自己PR作成演習								
7	添削指導								
8	面接の基本マナー								
9	想定質問への回答作成								
10	個人面接演習①								
11	個人面接演習②								
12	課題修正								
13	電話・メール対応								
14	見学後のお礼状作成								
15	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援ⅢA						学期	前期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科衛生士としての職業観を確立し、専門職として責任ある社会人への移行を円滑に進める。								
授業内容	履歴書・面接の最終確認、職場研究、社会人としての心構え、労働条件や契約内容の理解、卒業後の自己研鑽計画の立案を行う。								
学習目標	自己の職業観を明確にし、就職先において専門職として責任ある行動をとるための準備ができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る、実習の振り返り								
2	求人情報最終確認								
3	応募先の選択整理								
4	志望動機ブラッシュアップ								
5	面接実践演習①								
6	面接実践演習②								
7	個別指導①								
8	個別指導②								
9	実際の面接振り返り								
10	内定報告と共有								
11	メンタルサポート								
12	メンタルサポート								
13	次の応募準備								
14	前期総括								
15	非認知能力の振り返り(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援ⅢB						学期	後 期	
担当教員	桑名 恵	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科衛生士としての職業観を確立し、専門職として責任ある社会人への移行を円滑に進める。								
授業内容	履歴書・面接の最終確認、職場研究、社会人としての心構え、労働条件や契約内容の理解、卒業後の自己研鑽計画の立案を行う。								
学習目標	自己の職業観を明確にし、就職先において専門職として責任ある行動をとるための準備ができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
2	内定後の心構え								
3	労働契約の確認								
4	給与・社会保険の基礎理解								
5	社会人マナー総復習								
6	医療倫理と守秘義務								
7	新人としての姿勢								
8	職場での報告・連絡・相談								
9	クレーム対応の基本								
10	ストレス管理								
11	継続学習の計画								
12	国家試験と就職の両立整理								
13	卒業後の目標設定								
14	キャリア形成の視点								
15	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)□ □								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	総合演習 I A						学期	前 期	
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科関連企業の見学を通して、歯科医療を支える多様な職域を知り、歯科衛生士としての将来像を考える基礎を築く。								
授業内容	歯科材料メーカー、医療機器関連企業等の見学や講話を通して、歯科医療を支える仕組みと職種の役割を学ぶ。								
学習目標	歯科医療を支える関連職種の存在を理解し、歯科衛生士の将来像について考えることができる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション(総合演習の目的理解)								
2	歯科医療を取り巻く業界構造								
3	歯科関連企業の種類(材料・機器・IT等)								
4	歯科材料メーカーの役割								
5	歯科機器メーカーの役割								
6	デンタルディーラーの仕事								
7	医療ICTと歯科								
8	実習先見学事前学習								
9	見学①								
10	見学振り返り								
11	見学②								
12	見学振り返り								
13	発表準備								
14	発表会								
15	前期まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	見学評価や発表より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	総合演習 I B						学期	後	期
担当教員	指導教員	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	歯科関連企業の取り組みを理解し、歯科医療の発展や地域社会との関わりを踏まえて自己の進路意識を高める。								
授業内容	見学や講話を通して、製品開発や医療支援体制、地域との連携の実際を学び、振り返りを行う。								
学習目標	歯科医療の発展における企業の役割を理解し、将来の進路について具体的に考察できる。								
使用テキスト	必要に応じて配布資料を使用する								
週数	授業計画								
1	前期振り返りと目標設定								
2	歯科医療と地域社会								
3	企業の社会的役割								
4	製品開発の流れ								
5	医療安全と企業責任								
6	講話①								
7	振り返り								
8	講話②								
9	振り返り								
10	企業見学								
11	職域拡大の可能性								
12	歯科衛生士のキャリア多様性								
13	将来像ワーク								
14	キャリアマップ作成								
15	総括								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題の取り組み姿勢より算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い・積極性より算出						
	3. テストその他	40 %	見学評価や発表より算出						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								